

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

日本経済は、アベノミクスの推進により大きく改善し、GNPは名目、実質ともに過去最大規模に拡大しており、企業収益が過去最高となる中で、所得の増加等により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環が続いております。

また、求職者一人に求人が何件あるかを示す有効求人倍率も平成 31 年 2 月には、1.63 倍（県内は 2.00 倍）に上昇するなど約 44 年ぶりの高水準となり、雇用・所得環境の改善が持続しております。

本県経済につきましては、個人消費は緩やかに回復しており、設備投資は、全体として減少の見通しとなっているものの、雇用情勢は改善しており、景気は緩やかに回復しております。

こうした中、富山市の 65 歳以上の高齢者人口は平成 30 年 9 月には 121,607 人となり、前年と比較して 1,380 人増えるなど今後も増加傾向にあります。

しかしながら、シルバー人材センターを取り巻く状況は、高齢者が増加傾向にあるにも関わらず、会員数が 1,813 人（前年度比 58 人減）となり、平成 30 年度内では減少に一定の歯止めはかかったものの、平成 22 年度をピークに減少傾向にあります。入会者が増えない理由としては、求人倍率が高いことのほかに、民間企業等における継続雇用制度の定着や高齢者のライフスタイルの多様化などによる、高齢者の就業に対する意識の多様化があるものとみられております。

これらのことから、会員数の増強を図るため、いわゆる団塊の世代や主婦層を中心とした女性会員の拡大を軸に、女性入会説明会「女性のつどい」や出張説明会を開催しました。また、1 月から 3 月までに入会された方への会費等の軽減制度（2,500 円→1,000 円）を導入するとともに、更なる取組みの強化を図るため、夫婦割引制度（夫婦のうちのどちらかの方は、2,500 円→1,250 円）を新年度から導入することを決定しました。また、ホームページを全面的にリニューアルするなど、センターの活動等を幅広く PRするとともに、よりシルバーの魅力等をわかりやすくアピールしていくため、

新年度から、入会説明会の名称、説明手順及び説明内容を見直しすることを準備するなど、事業の普及・拡充に努めました。

一方、受託契約金額につきましては、前年度比8.1%減の901,123千円、また、受託件数につきましては、前年度比5.5%減の16,997件となりました。

就業延べ日人員は、前年度比5.2%減の189,207人日となり、就業率は、前年度比0.8%減の90.1%となりました。

作業内容別では、剪定や除草、農作業などの屋外作業のほか、屋内作業では、民間事業所等の清掃作業などが大幅な減少となりました。

安全就業の徹底につきましては、「安全ニュース」による情報提供や安全パトロールの強化、安全就業の指導を徹底し、就業中の事故だけでなく、交通事故防止や健康管理に留意するよう会員の安全意識の高揚を図り、事故防止に努めており、前年度に比べ、傷害事故で9件減の12件、賠償事故で2件減の11件、合わせて11件減少しました。

また、適正就業の徹底につきましては、国の「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、継続してその推進に努めていく必要があることから、あらためて、法令遵守の観点から、これらの再点検を実施するとともに、必要があるものについては、派遣への切り替えなど所要の改善の取り組みを行いました。

「高齢者・現役世代雇用サポート事業」につきましては、昨年度に引き続き、新規・継続会員への技能講習会を開催するとともに、関係団体と協力して企業訪問を実施するなど、新規会員の確保と魅力ある就業開拓に努めました。

組織の充実強化及び財政の健全化の取り組みにつきましては、第五次中期計画を踏まえ、コンパクトで効率的な組織の構築を図るため、本年3月末をもって大山連絡所及び八尾連絡所を廃止しましたが、会員や発注者の方々の利便性に十分配慮し、各地域に交換箱を設置するとともに、逡送体制を整備したところであります。

以下、平成30年度事業内容の詳細につきましては、次のとおり報告いたします。